

**Wi-Fiを分析、可視化**

# NetSpot 5

ネットスポット

利用ガイド

**LIFEBOAT**  
a megasoft company

Microsoft は Microsoft Corporation の登録商標、Windows は同社の商標です。その他の商標は、それぞれ該当する会社が所有する商標です。

## 注意

本冊子に記載されている情報は、予告無しに変更されることがあります。株式会社ライフボートは、本利用ガイドあるいはプログラムに記載されている内容に対していかなる誤りが含まれる場合にも、一切の保証を行いません。

本利用ガイドで使用している製品の画像は、ベータ版製品のものとなります。製品のアップデートにより、画面が変更されたり、違いが生じることがございます。

EDITION

April 2026

Copyright © 2026 by Lifeboat, Inc.

All rights reserved.

Printed in Japan

PUBLISHED BY

株式会社ライフボート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

ホームページ: <http://www.lifeboat.jp/>

# 目次

第1章	はじめに	4
1-1	動作環境	4
1-2	注意事項	5
第2章	インストールと概要	6
2-1	インストールとライセンス認証	6
2-2	機能比較	11
2-3	起動方法、操作画面	13
第3章	検査	15
第4章	測定	18
4-1	測定	19
4-2	ゾーン分け、スナップショット追加	26
4-3	アクティブスキャン【Pro版のみ】	30
4-4	視覚化(ヒートマップ作成)について	32
4-5	Mac版、Windows版機能比較	33
4-6	用語について	34
4-7	アクセスポイントの数、グループ分け	36
4-8	レポート出力【Pro版のみ】	37
4-9	プロジェクトのエクスポート/インポート【Pro版のみ】	39
4-10	プロジェクトのコピー	41
第5章	計画【Pro版のみ】	42
第6章	その他の操作	53
6-1	設定	53
6-2	アンインストール	57

## 第1章 はじめに

NetSpotは、周囲のWi-Fiネットワークをスキャンして電波の状況を表やグラフで表示したり、電波強度を計測することでヒートマップの作成が行えるソフトウェアです。目に見えない電波を視覚化することで、Wi-Fi環境の改善に役立てることができます。

Pro版では、これから設置予定のWi-Fiネットワークについて、電波状況を予測、計画することも可能です。

※ Home版/Pro版の機能比較は『2-2』をご参照ください。

### 1-1 動作環境

#### <必要なシステム>

対応 OS:	日本語 Windows 11/10 MacOS 11 以降
対応機種:	上記 OS が正常に動作するパソコン (PC/AT 互換機)
ディスクの空き容量:	1GB 以上
その他:	Wi-Fi 対応のノートPC インターネット接続(アクティベーション時/ アップデート時)

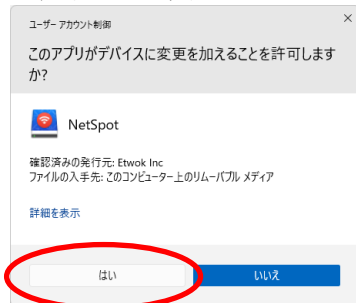
## 1-2 注意事項

- 実際の環境を調査する製品のため、移動して使用します。ノートPCやモバイルPCにインストールしてください。
- 現時点では、ノイズレベル(雑音レベル)、信号対雑音比(SNR)の測定は Mac 版のみで可能です。
- 検査モード、測定モードを使用時は、Wi-Fi の諸情報を取得するために端末の位置情報サービスを有効にする必要があります。
- スマートフォン用アプリのサポートは行っていません。
- 本製品についての最新の情報はホームページをご参照ください。  
(<https://www.lifeboat.jp/>)

## 第2章 インストールと概要

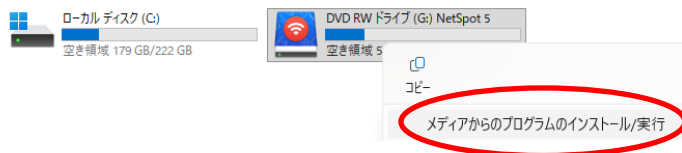
### 2-1 インストールとライセンス認証

- (1) 製品 CD をコンピュータに挿入すると自動再生が起動して以下の画面が表示されます。「スタート.exe の実行」を選択してください。



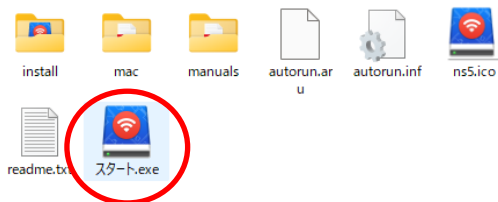
- ※ 表示されない場合は、エクスプローラで製品 CD を右クリックし「メディアからのプログラムのインストール/実行」を選択してください。

▼ デバイスとドライブ

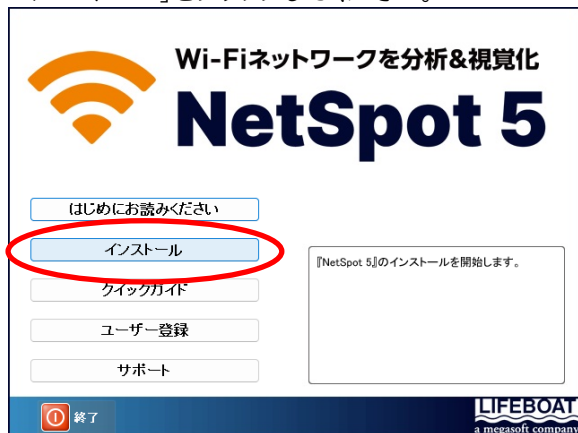


- ※ 製品 CD 内を開いて「スタート.exe」をダブルクリックしてもインストールできます。

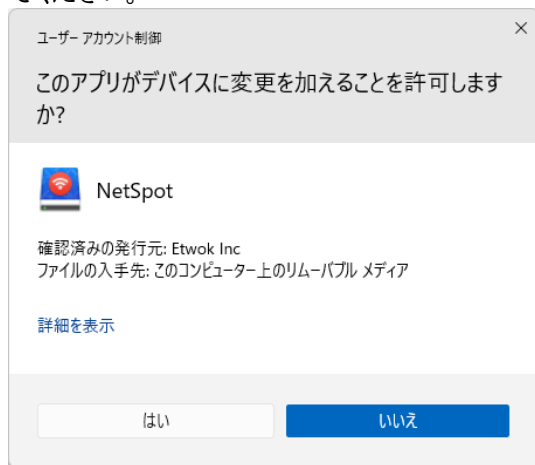
▼ 現在ディスクにあるファイル



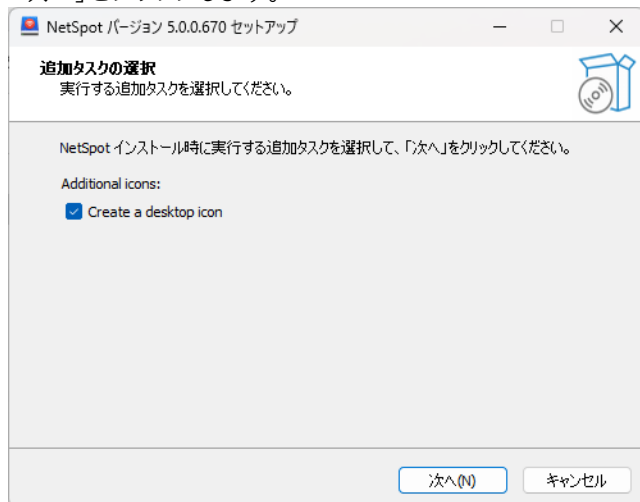
- (2) 「インストール」をクリックしてください。



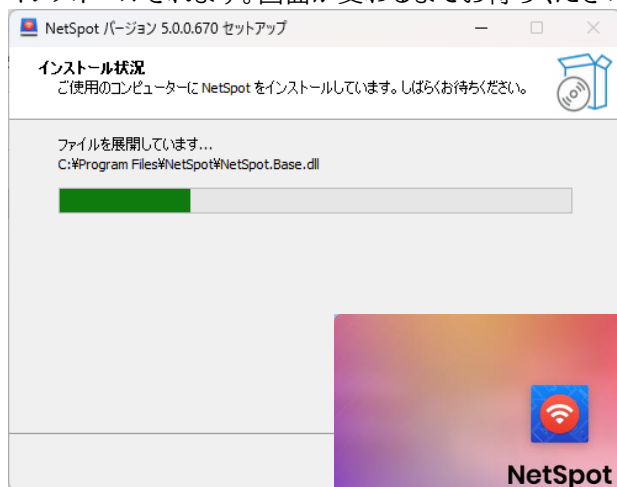
- (3) ユーザーアカウント制御の画面が表示されましたら「はい」をクリックしてください。



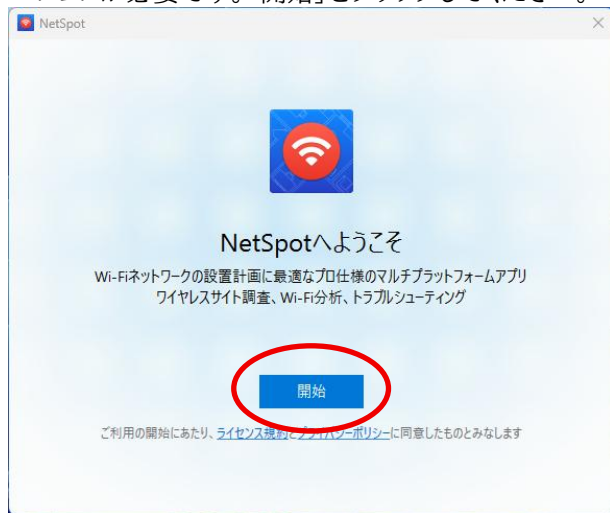
(4) 「次へ」をクリックします。



(5) インストールされます。画面が変わるまでお待ちください。



- (6) 以下の画面が表示されたらインストールは完了です。初回はアクティベーションが必要です。「開始」をクリックしてください。



- (7) 「アクティベーションコードを入力する」をクリックしてください。



- (8) アクティベーションコードを入力し、「アクティベート」をクリックしてください。



- ※ アクティベーションコードは、パッケージ版は同梱されている『お客様控え』に、ダウンロード版ではご購入時のメールに記載してあります。

- ※ 全角文字でご入力された場合は正しく認証されませんのでご注意ください。  
全角文字× ABCDE abcde 1 2 3 4 5  
半角文字○ ABCDEabcde12345

- (9) 認証が成功すると、以下の画面になります。この画面は「×」で閉じてください。



以上でインストールと認証は完了です。

## 2-2 機能比較

NetSpotでは、ネットワークに関するあらゆるデータを測定、収集することができます。Home版とPro版の違いは下記の通りです。

機能	Home	Pro	参照
Wi-Fi 検査、分析	○	○	第3章
Wi-Fi 測定、ヒートマップの作成	○	○	第4章
Wi-Fi 計画、予測	×	○	第5章
プロジェクトごとのゾーン数	2	50	4-2
ゾーンあたりのスナップショット	2	50	4-2
ゾーンあたりのデータポイント	50	500	4-1
視覚化されるパラメータ数	3	20以上	4-4
アクセスポイント(AP)の視覚化	最大6	無制限	4-6
測定結果のフィルタリング APグループ分け	1	6	4-6
測定結果のフィルタリング カスタムグループ	×	○	4-6
レポート出力	×	○	4-7
アクティブスキャン	×	○	4-3
トラブルシューティング	×	○	4-4
SSID ステルスのサポート	×	○	第3章
エリアタイプの調整 (調査する空間の広さを選択)	×	○	4-1
カスタムエイリアスを使用した AP管理	×	○	6-1(4)
プロジェクトの エクスポート/インポート	×	○	4-8
商用利用	×	○	-

※ Windows版、Mac版で若干の差があり、おもに第4章 測定 に関する内容になります。詳細は『4-5』をご参照ください。

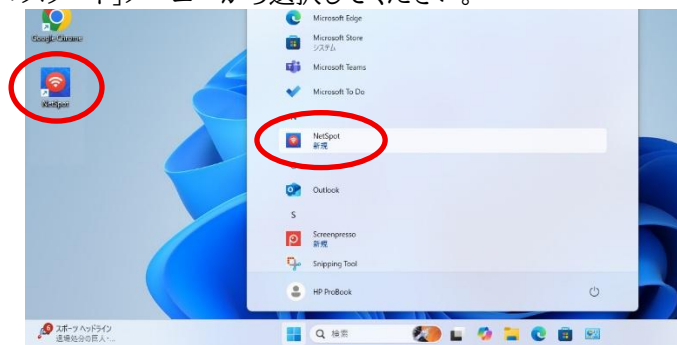
Home 版で対応していない機能を使用しようとすると以下のメッセージが表示されます。



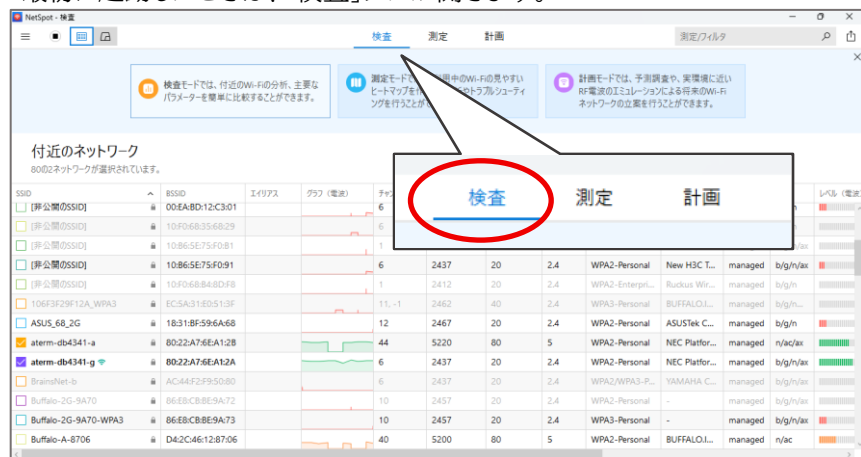
必要であれば、Pro 版のアクティベーションコードをご入力いただくことでアップグレードが可能です。

## 2-3 起動方法、操作画面

NetSpot を起動するには、デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、「スタート」メニューから選択してください。



最初に起動したときは、「検査」タブが開きます。



### 【検査】

既存の Wi-Fi 環境を詳しく調べることができます。  
詳細は『第3章』をご参照ください。

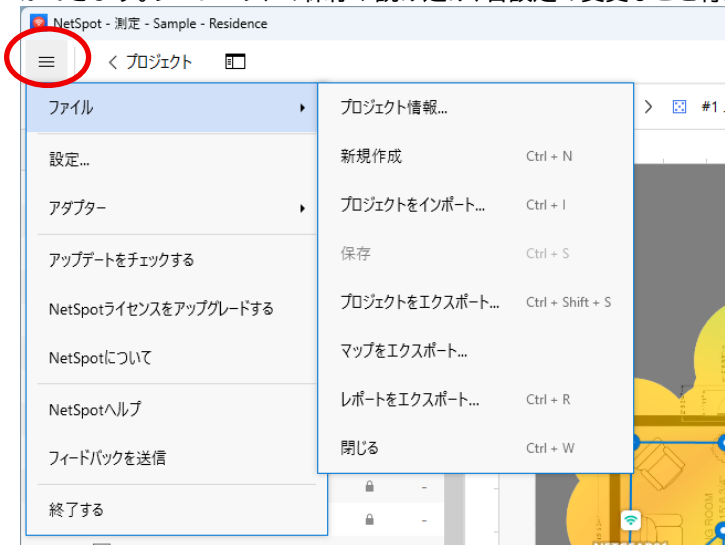
### 【測定】

環境を実際に測定し、測定したデータを元にヒートマップを作製することができます。状況を視覚化することで、改善や効率化が容易になります。詳細は『第4章』をご参照ください。

### 【計画】 ◆Pro 版のみ

これから Wi-Fi を設置するにあたり、詳細なシミュレーションを行うことができます。時間や労力を節約して効果的なネットワーク環境の構築にお役立ていただけます。詳細は『第5章』をご参照ください。

- ※ それぞれのタブから、左上の  をクリックし、メニューを表示することができます。プロジェクトの保存や読み込み、各設定の変更などを行えます。



- ※ 設定については『6-1』をご参照ください。

## 第3章 検査

「検査」タブをクリックすると、現在ご利用の PC で検出可能な無線ネットワークが自動的に一覧で表示されます。

信号の強さ、周波数帯、802.11 のモード、混雑状況、使用されているセキュリティなど、様々な情報を得ることができます。

SSID	BSSID	エイリアス	グラフ (電波)	チャンネル	高さ	チャンネル幅	ボード	セキュリティ	販売元	種類	モード	シグナル (電波)
aterm-db4341-g	80:22:A7:6E:A1:2A			6	2437	20	2.4	WPA2-Personal	NEC Platfor...	managed	b/g/n/ax	
aterm-db4341-a	80:22:A7:6E:A1:2B			44	5220	80	5	WPA2-Personal	NEC Platfor...	managed	n/ac/ax	
soramameya	50:3E:AA:6C:65:7F			11	2462	20	2.4	WPA2-Personal	TP-LINK TE...	managed	g/n	
Buffalo-A-8706	D4:2C:46:12:87:06			36	5180	80	5	WPA2-Personal	BUFFALO...	managed	n/ac	
VAIO-EY53XG	D0:AE:EC:AA:45:74			2	2417	20	2.4	WPA/WPA2-Pe...	Alpha Netw...	managed	b/g/n	
grandem_g	50:C4:DD:1B:79:00			3	2422	20	2.4	WPA/WPA2-Pe...	BUFFALO...	managed	b/g/n	
elctravelSF-wifi	38:97:A4:55:78:5E			7	2442	20	2.4	WPA2-Personal	ELECOM C...	managed	b/g/n	
[非公開のSSID]	10:F0:68:34:93:89			11	2462	20	2.4	WPA2-Personal	Ruckus Wir...	managed	b/g/n	
[非公開のSSID]	00:E5:F1:E2:55:54			2	2417	20	2.4	WPA2/WPA3-P...	BUFFALO...	managed	b/g/n/ax	
COLLABO-8GN	CC:E1:D5:D7:71:01			3, +1	2422	40	2.4	WPA2-Personal	BUFFALO...	managed	b/g/n	
NH-Bc-1x	C4:82:39:FA:07:4C			52	5260	20	5	WPA2-Enterpri...	Cisco System...	managed	n/ac	
[非公開のSSID]	00:E5:F1:E2:55:55			2	2417	20	2.4	WPA2/WPA3-P...	BUFFALO...	managed	b/g/n/ax	
ED24TAB	00:EA:8D:1A:9F:A3			11	2462	20	2.4	WPA2-Enterpri...	Cisco System...	managed	b/g/n	
NH-Edu-1x	10:B3:D6:E2:A0:4E			60	5300	20	5	WPA2-Enterpri...	Cisco System...	managed	n/ac	
grandem_a	50:C4:DD:1B:79:08			40	5200	80	5	WPA/WPA2-Pe...	BUFFALO...	managed	n/ac	
[非公開のSSID]	00:EA:8D:1A:9F:A5			11	2462	20	2.4	WPA2-Enterpri...	Cisco System...	managed	b/g/n	
NH-Kind-Mot-Edu	10:B3:D6:E2:A0:49			60	5300	20	5	WPA2-Personal	Cisco System...	managed	n/ac	


※ 使用されている用語については、ホームページ上の「よくある質問」もご参照ください。

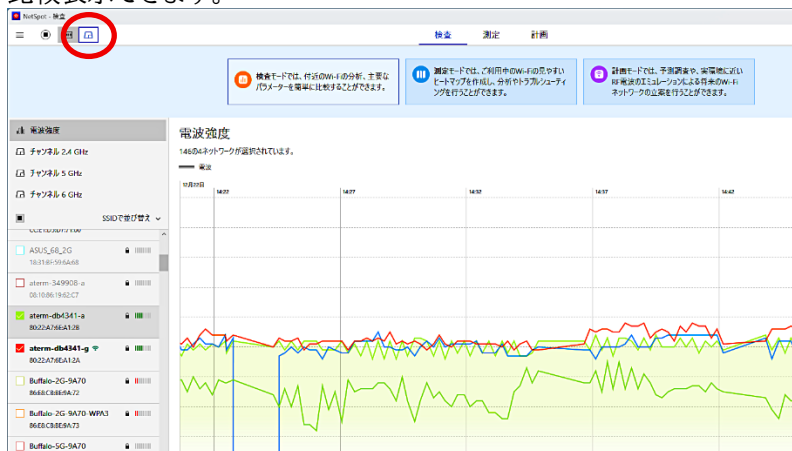
【検査モードで 사용되는用語について】

<https://www.lifeboat.jp/support/db/017251223001.html>

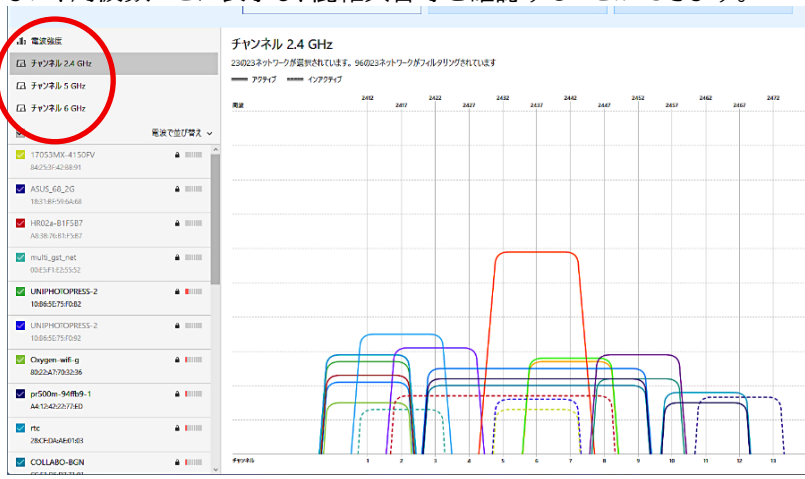
- SSID (Service Set Identifier)  
WiFi ネットワークの名前です。セキュリティ等の都合で非公開になっている場合もあります。Home 版では非公開 SSID には対応しません。
- BSSID (Basic Service Set Identifier)  
無線 LAN のアクセスポイント (AP) の識別子です。通常は MAC アドレス (ハードウェアの個体番号) です。

- **エイリアス**  
Wi-Fi ネットワークに別名が設定されている場合は表示します。
- **チャンネル**  
Wi-Fi 信号は複数のチャンネルに分割されており、高速道路の車線に似ています。チャンネルの選択によっては、他の信号との干渉を引き起こすことがあるため、重複しないチャンネルを選択することが重要です。
- **バンド(周波数帯)**  
WiFi ネットワークの多くは 2.4 GHz と 5 GHz、6GHzになります。最近のルーターでは複数のバンドをサポートしています。2.4 GHz バンドは長い間使用されているため、混み合っていることがあります。
- **セキュリティ**  
Wi-Fi の暗号化方式が表示されています。(WPA2、WPA3 等)
- **モード**  
Wi-Fiの通信規格 IEEE802.11 のモードです。2.4 GHzでは b、g、5GHz では a、ac が使用され、両方の周波数で n/ax が使用されています。
- **電波/平均/最大/最小 (RSSI)**  
受信信号の強度を表し、マイナスの数値で表示されます。単位は dBm (デシベルミリワット)です。一般に RSSI(Received Signal Strength Indicator)とよばれます。0 に近いほど強く、-70dBm より強いと通信可能、-80dBm を下回ると不安定になるといわれます。

のアイコンをクリックすると、特定のネットワークを選択して、30分、1時間と継続的に信号を測定し、信号が途切れる場所や時間帯がないかどうかなどを、グラフで確認することができます。複数のWi-Fiをピックアップして比較表示できます。



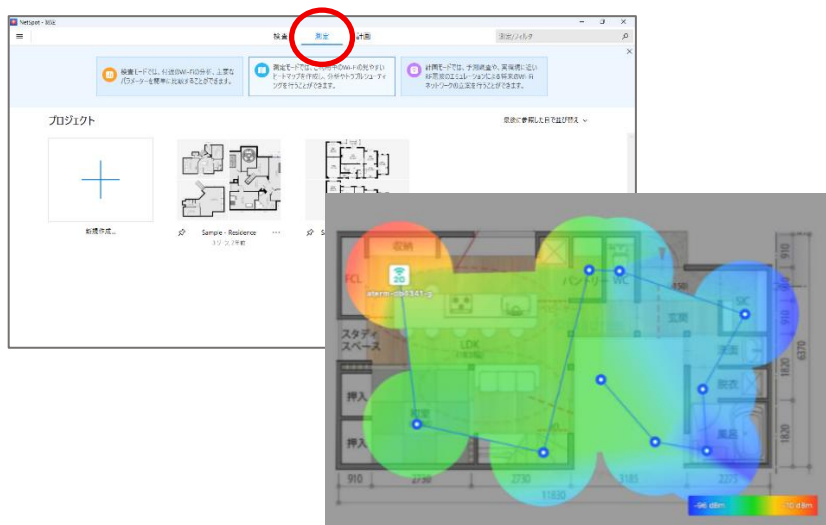
また、周波数ごとに表示し、混雑具合等を確認することができます。



## 第4章 測定

「測定」タブでは、現地の Wi-Fi 環境をさまざまな項目で測定し、視覚化することができるツールです。

測定したデータをもとにヒートマップが作成されるため、電波状況をあらゆる面から把握することができます。



- 測定しながらデータを記録しますので、測定モードを使用するには NetSpot をノート PC やモバイル PC で立ち上げてください。
- 現地を測定し記録しますので、調査したい建物の図面をご用意いただきますとスムーズです。256 x 256 ピクセル以上の画像をご用意ください。(図面がない場合は、製品上で簡略的な作図も可。)
- 図面ファイルは、PDF、PNG、JPG、BMP、GIF のいずれかでご用意ください。

1つのプロジェクトで、建物の1階と2階を分けて測定したり(ゾーン分け)、同じ場所を条件を変えて複数回測定して記録することができます(スナップショット)。

Home版では1つのプロジェクトに2ゾーン、Pro版では50ゾーン作成が可能です。ゾーン分けとスナップショットの詳細は『4-2』をご参照ください。

またPro版では測定結果をPDF、PNG、CSV形式でエクスポートすることができます。詳細は『4-7』をご参照ください。

## 4-1 測定

- (1) 測定を開始するには、「測定」タブを開き、「+」をクリックしてください。



- (2) わかりやすいプロジェクト名をつけ、図面をお持ちの場合は「ファイルより」をクリックし、お持ちでない場合は「図面を描く」を選択してください。

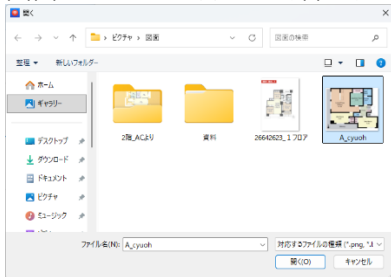


## 第4章 測定

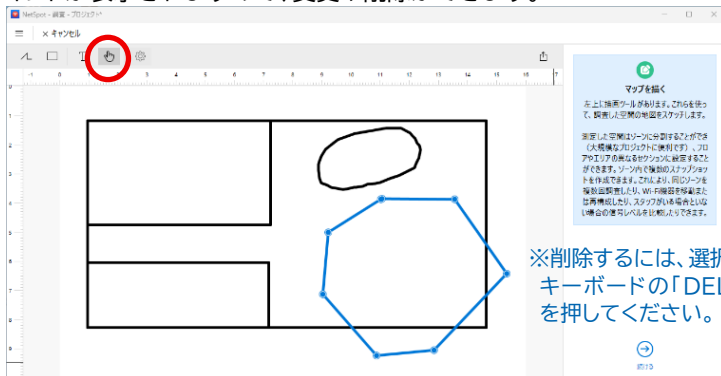
※ 図面を描く場合は、大まかな規模を設定するため、キャンバスサイズを指定してからお進みください。



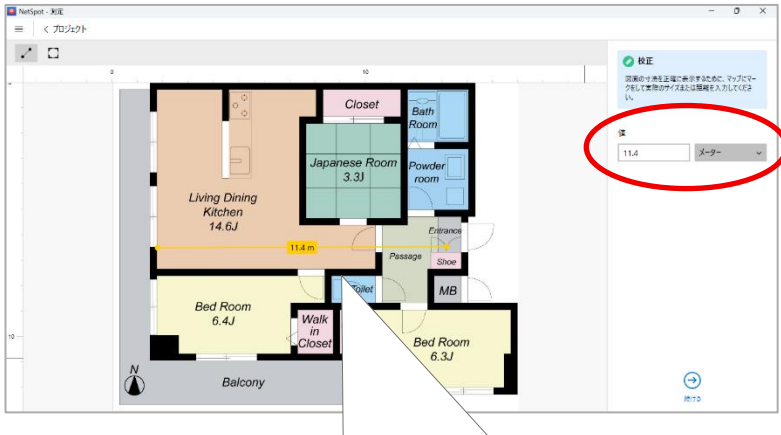
(3) 図面ファイルをお持ちの場合は、ファイルを選択してください。



※ 図面を描く場合は、長方形と直線のみのごく簡易なツールとなりますが、概略を作成してください。🖱️のアイコンを選択してから図形を選択すると、ポイントが表示されますので、変更や削除ができます。



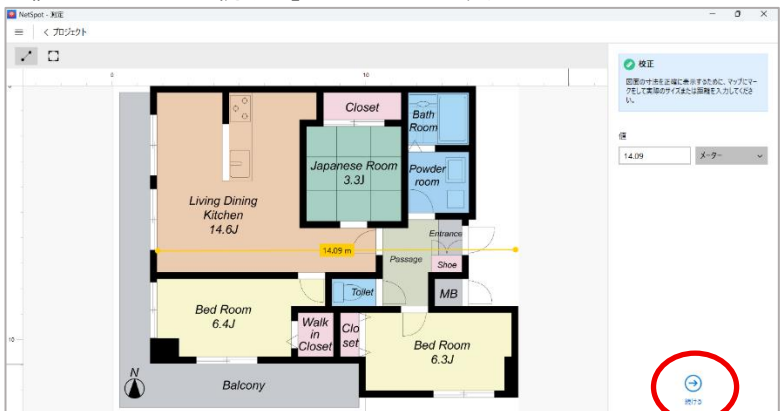
- (4) 読み込みましたら大まかなサイズを入力してください。(作画した場合はこの手順はありません。)



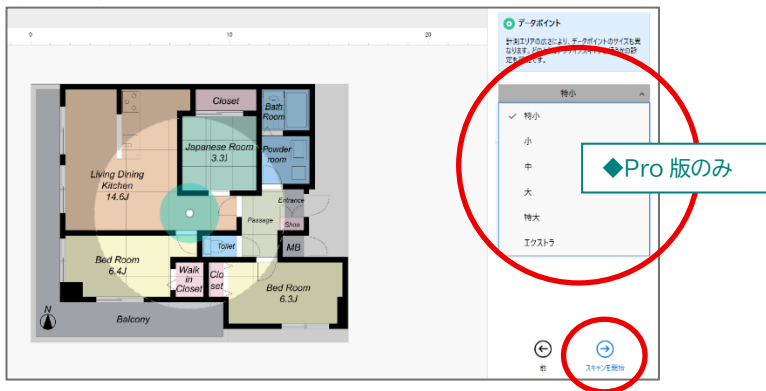
ルーラーが表示されますので、わかりやすい位置を指定して、右側の枠内に長さをご入力ください。



- (5) 数値を入力したら「続ける」をクリックします。



- (6) Pro 版では、測定する空間の規模に合わせて、データポイントのサイズを指定することができます。指定したら「スキャンを開始」をクリックしてください。



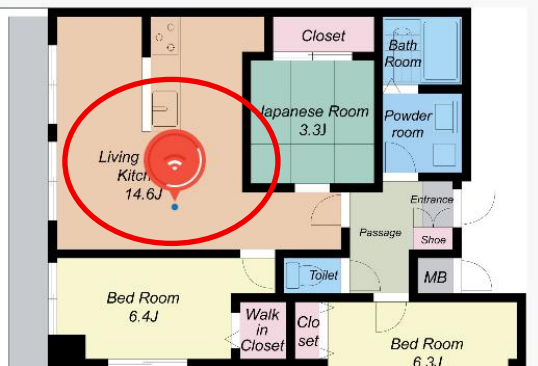
- ※ データポイントの選択は Pro 版のみで可能です。大きさは下記を目安に選択してください。

- 特小 3m×3m 小さいオフィス、アパートの一室等
- 小 5m×5m 仕切りのあるオフィス
- 中 12m×12m 開けた広い屋内、広いオフィス等
- 大 15m×15m 市街地の一角、限られた範囲の屋外
- 特大 30m×30m 住宅街
- エクストラ 60m×60m 開けた広い屋外

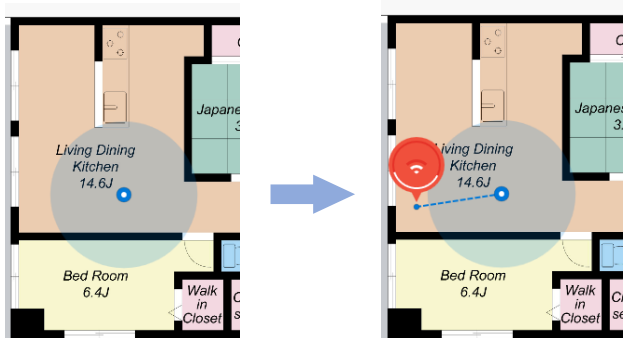
- ※ アクティブスキャンは Pro 版のみの機能です。詳細は『4-3』をご参照ください。



- (7) 測定を始めます。図面上で、現在いる場所をクリックしてください。赤く Wi-Fi マークが点滅している間は測定中ですのでその場でお待ちください。



- (8) 赤い点滅がなくなり、青い点になったら1ポイント測定終了です。次の任意の場所へ移動し、図面上の位置をクリックしてください。同様に測定が始まります。



※ 1つのゾーン内で配置可能なデータポイントの数  
Home 版:50/Pro 版:500

※ 直線的ではなくギザギザに移動して、範囲内をくまなく計測することをお勧めします。部屋の四隅を満遍なくカバーしたあと中心に移動するなど、全ての範囲を網羅した計測ポイントを指定してください。

## 第4章 測定

(9) 満遍なく測定が終わりましたら、「ヒートマップ」をクリックしてください。



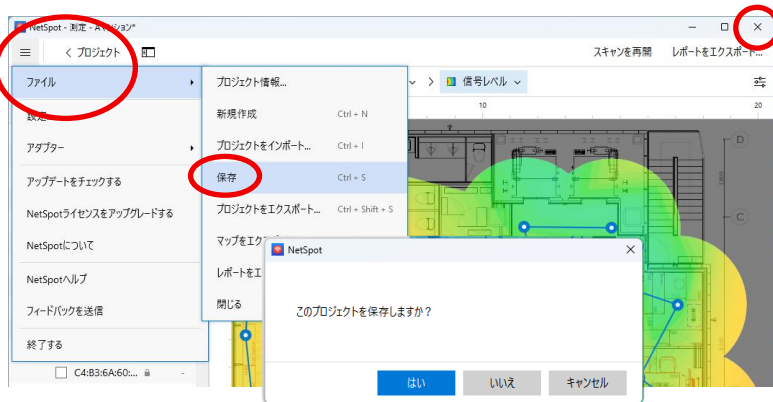
(10) ヒートマップが表示され、結果が視覚化されます。電波レベルだけでなく、さまざまな項目の結果を視覚化することができます。詳細は『4-4』をご参照ください。



※ Pro 版では、結果をレポートとして出力することができます。詳細は『4-7』をご参照ください。

※ 別の階を測定したり、同じ場所を条件を変えてもう一度測定したい場合は、『4-2』をご参照ください。

- (11) あとで続きを行う場合など、プロジェクトを保存したい場合は、左上の ≡ から「ファイル」 - 「保存」をクリックしてください。



- ※ 「×」で画面を閉じるか、「プロジェクト」をクリックした場合も、保存ダイアログが表示され保存できます。

## 4-2 ゾーン分け、スナップショット追加

1つのプロジェクトで、建物の1階と2階を分けて測定したり、同じ場所を条件を変えて測定して記録することができます。

- ゾーン

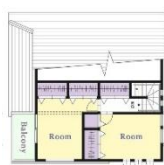
調査対象の1階、2階などの各階は、別のゾーンとして分け、それぞれ測定することができます。室内と駐車場のように離れた場所も、別のゾーンに指定できます。



ゾーン1 (1階)



ゾーン2 (2階)



ゾーン3 (駐車場)

1つのプロジェクト内で作成できるゾーンの数

Home版:2/Pro版:50

- スナップショット

1つのゾーンで条件を変えて測定し、スナップショットとして保存することができます。時間帯を変えて測定したり、機器や家具の位置を変えたり、人がいる場合といない場合などの比較、窓を開けているといった小さな要因でも結果に違いが現れることがあります。



ゾーン1 (1階)

スナップショット1  
(測定 1 回目)



スナップショット2  
(測定 2 回目)



スナップショット3  
(測定 3 回目)



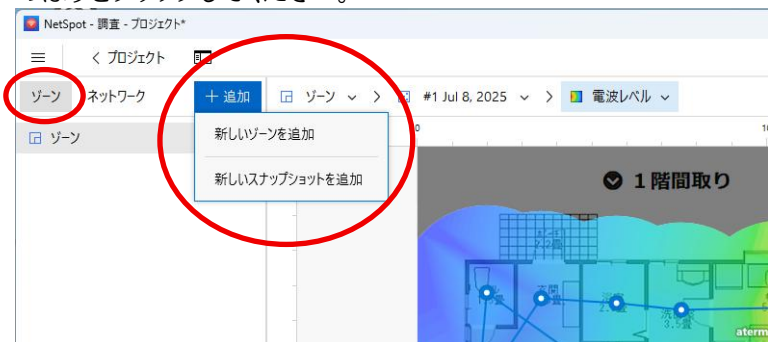
1つのゾーン内で作成できるスナップショットの数

Home版:2/Pro版:50

- (1) 『4-1』の手順でプロジェクトを開始するか、保存してある場合は開きません。



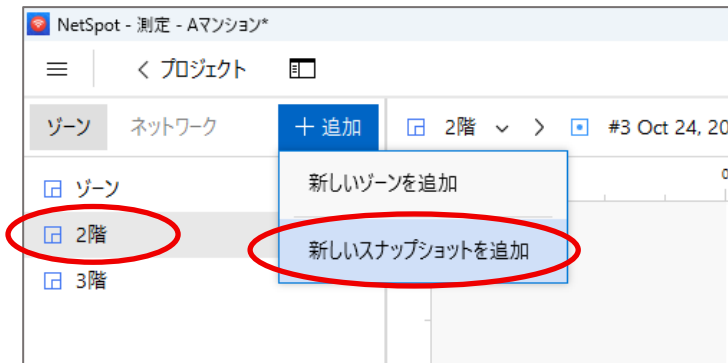
- (2) 「ゾーン」タブの「+追加」から、新しいゾーン、スナップショットのご希望のほうをクリックしてください。



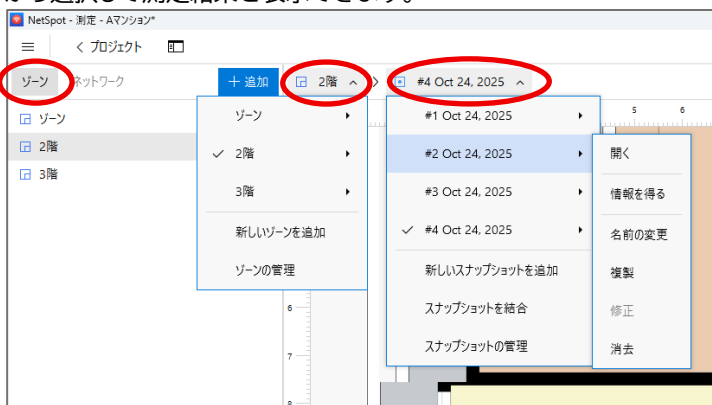
(3) ゾーンを選択した場合は、図面を追加する画面が表示されます。図面を追加または作画し、『4-1』(2)～ の手順と同様に測定を行ってください。

スナップショットを選択した場合は、測定の画面が表示されます。『4-1』(7)～ と同様の手順で 2 回目の測定を開始してください。

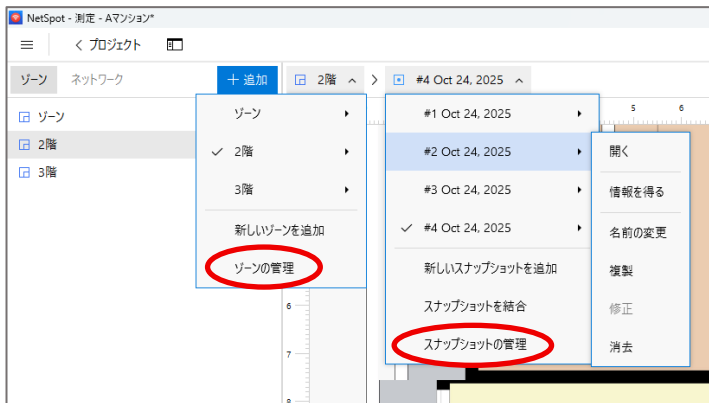
※ スナップショットの追加では、ゾーンが複数ある場合は、ご希望のゾーンを選択した上で追加してください。



※ 追加したゾーンは「ゾーン」タブから、スナップショットはドロップダウンリストから選択して測定結果を表示できます。

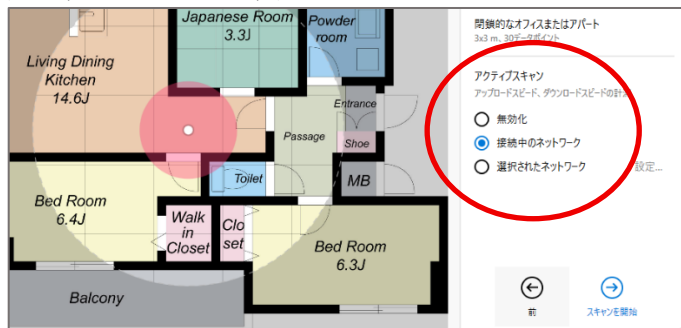


※ ゾーン管理、スナップショットの管理を開くと、全体の概要を確認できません。



### 4-3 アクティブスキャン【Pro 版のみ】

特定のネットワークを選択して、ダウンロード/アップロード速度、TX レートを測定することができます。



各データポイントでのスキャン時に、ダウンロード/アップロード速度を追加して測定します。その分スキャン時間が長くなりますので、一度に一つのネットワークを選択して測定することを推奨します。

※ 通常のスキャンが終わったあとにアイコンが変わり、続けてアクティブスキャンを行います。

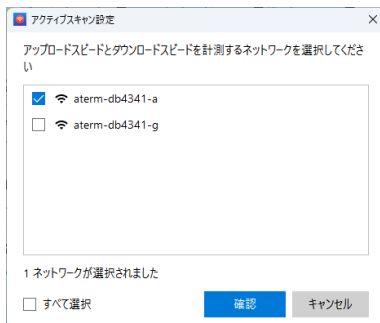
通常スキャン中のアイコン



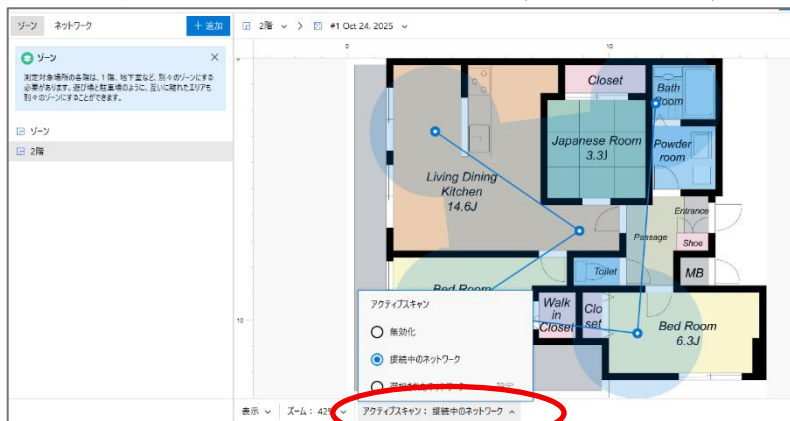
アクティブスキャン中のアイコン

「選択されたネットワーク」をクリックすると測定可能なネットワークが表示されます。測定時は、現在の接続を切って、選択したネットワークに接続しますのでご注意ください。

スキャンしたいネットワークがリストにならない場合は、NetSpot を終了し、ご希望のネットワーク (Wi-Fi) に接続してから、再度お試しください。



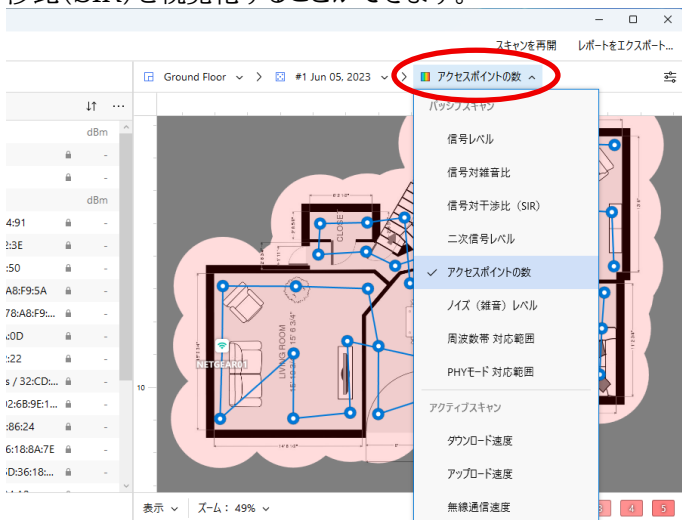
測定の途中で、アクティブスキャンをオン/オフすることもできます。



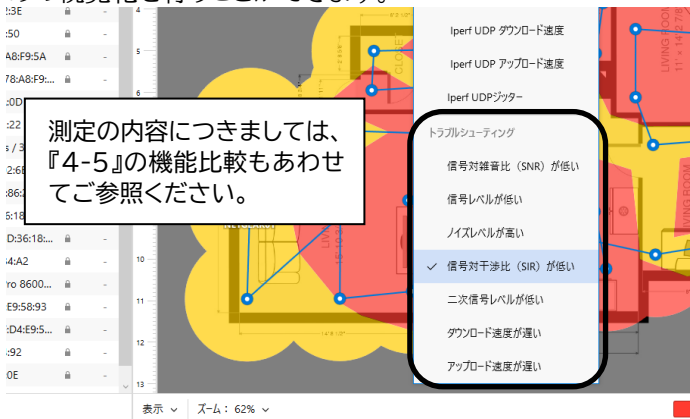
※ アクティブスキャンの設定は『6-1』(5)をご参照ください。

## 4-4 視覚化(ヒートマップ作成)について

電波レベルのほかに、様々な測定結果を視覚化して確認することができます。Home 版では、リストの上から3つの信号レベル、信号対雑音比、信号対干渉比(SIR)を視覚化することができます。



Pro 版ではさらに、アクティブスキャンの結果や、トラブルシューティングのための視覚化を行うことができます。



## 4-5 Mac 版、Windows 版機能比較

通常のスキャン	Windows /Mac【Home】	Windows【Pro】	Mac【Pro】
信号対雑音比(SNR)	※×	※×	○
信号レベル	○	○	○
信号対干渉比	○	○	○
二次信号レベル	×	○	○
ノイズレベル	※×	※×	○
アクセスポイントの数	×	○	○
周波数帯域 対応範囲	×	○	○
PHY モード 対応範囲	×	○	○
アクティブスキャン	Windows /Mac【Home】	Windows【Pro】	Mac【Pro】
ダウンロード速度	×	○	○
アップロード速度	×	○	○
無線 通信速度	×	○	○
Iperf3 アップロード	×	×	○
Iperf3 ダウンロード	×	×	○
トラブルシューティング	Windows /Mac【Home】	Windows【Pro】	Mac【Pro】
SNR の問題	×	○	○
信号レベル(低/高)	×	○	○
ノイズレベルが高い	※×	※×	○
重複するチャンネル	×	○	○
二次信号レベルが低い	×	○	○
ダウンロード速度が低い	×	○	○
アップロード速度が低い	×	○	○

※現時点では、ノイズレベル(雑音レベル)、信号対雑音比(SNR)の測定は Mac 版のみで可能です。

## 4-6 用語について

使用されている用語については下記の通りです。ホームページ上の「よくある質問」もご参照ください。

【測定モードで使用される用語について】

<https://www.lifeboat.jp/support/db/017251224002.html>

【通常のスキャン】

**信号レベル**

受信信号の強度を表し、マイナスの数値で表示されます。単位は dBm(デシベルミリワット)です。0に近いほど強く、-70dBm より強いと通信可能、-80dBm を下回ると不安定になるといわれます。

**信号対雑音比(SNR)** Wi-Fi 信号と背景ノイズのレベルを比較します。ノイズは家電製品からの熱雑音やインパルスノイズを対象にしています。他の無線機器からの干渉は「信号対干渉比」で測定します。

ノイズの測定は、現時点ではMacでのみ可能です。

**信号対干渉比** Wi-Fi 信号と他の無線送信機からの干渉レベルを測定します。

**二次信号レベル** その場所で検出された 2 番目に強い Wi-Fi 信号を調べます。メインの Wi-Fi が故障した場合などのバックアップ確保の目的があります。

**ノイズレベル** 各ポイントで検出された熱雑音、インパルスノイズを測定します。現時点ではMacでのみ測定可能です。

**アクセスポイントの数** 各ポイントで検出可能なアクセスポイントを表示します。

**周波数帯域 対応範囲** 2.4GHz、5GHz、6GHz 等の使用されている周波数帯を調べます。

**PHY モード 対応範囲** Wi-Fi 規格 802.11 プロトコルのモード(a、b、g、n、ac、ax)を表示します。

## 【アクティブスキャン】

**ダウンロード速度** / インターネットから情報をダウンロードできる速度。Mbps (メガビット/秒)

**アップロード速度** 各デバイスからインターネットへ情報をアップロードできる速度。Mbps (メガビット/秒)。

**無線 通信速度** AP から無線デバイスへのデータ送信速度。専門用語では TxRate とよばれます。

**Iperf3 アップロード/ダウンロード** Iperf3は、サーバー、クライアント間のパフォーマンスを測定したり、調整するためのオープンソースのツールです。HTTP、TCP、またはUDP 経由の速度を測定します。

## 【トラブルシューティング】

トラブルシューティングのヒートマップでは、信号レベルや重複チャンネルなどそれぞれの項目について、問題のある領域を赤、注意が必要な領域を黄色、正常な領域を緑で表示します。

問題のある領域を明確に、スムーズに把握することができます。

## 4-7 アクセスポイントの数、グループ分け

結果を表示したいアクセスポイントにチェックを入れてください。

APの視覚化  
Home版:最大6/Pro版:無制限

また、ネットワークタブからリストを開き、アクセスポイントをグループに分けて表示し、それぞれの影響を確認することができます。Home版では、SSIDのみの表示になります。

NetSpot - 測定 - 整形メガソフト社 アクティブスキャン

ゾーン ネットワーク

グループ別 SSID (ネットワーク名)

- ✓ SSID (ネットワーク名)
- モード
- チャンネル
- 販売元
- セキュリティ
- バンド
- カスタマイズ

SSID (ネットワーク名) dBm

モード

チャンネル dBm

販売元

セキュリティ dBm

バンド

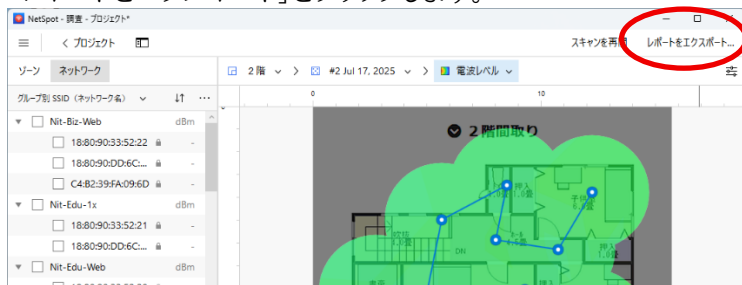
カスタマイズ dBm

電波

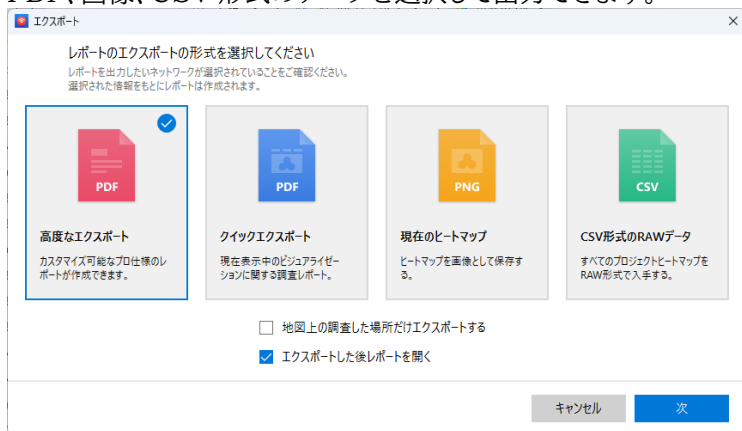
## 4-8 レポート出力【Pro 版のみ】

測定のヒートマップが作成されたあとは、PDF ファイルや画像ファイルのレポートをエクスポートすることができます。

- (1) 「レポートをエクスポート」をクリックします。



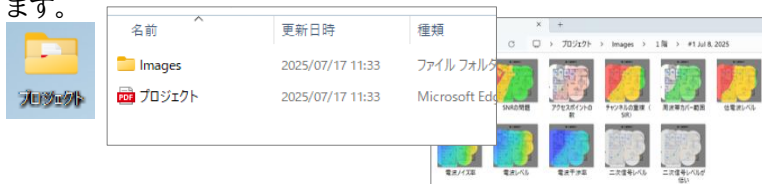
- (2) PDF、画像、CSV 形式のデータを選択して出力できます。



レポートの内容は下記の通りです。

## 第4章 測定

- 高度なエクスポート  
フォルダで出力されます。  
PDF のレポートと、全ゾーン、スナップショットの測定結果の画像を含みます。

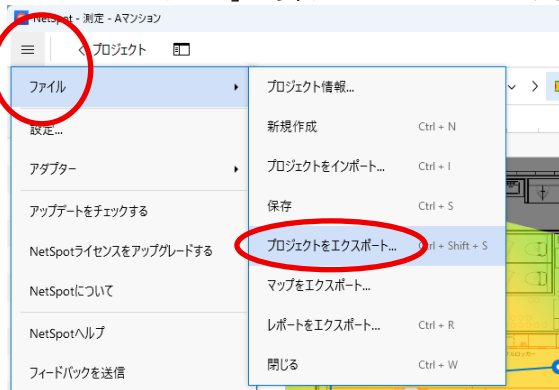


- クイックエクスポート  
現在表示している画面の内容のみを、PDFファイルで出力します。
- 現在のヒートマップ  
現在表示している画面を画像(PNG)で出力します。
- CSV 形式の RAW データ  
測定したヒートマップを CSV 形式のデータで出力します。

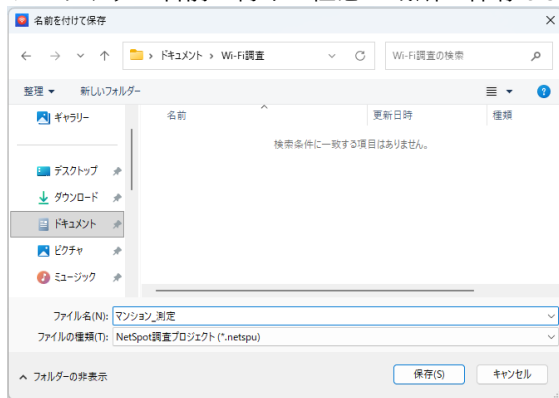
## 4-9 プロジェクトのエクスポート/インポート【Pro 版のみ】

測定タブ、計画タブで作成したデータをプロジェクト単位で独自の形式でエクスポート/インポートすることができます。NetSpot を使用する他の PC で使用したり、バックアップデータとしてもお使いいただけます。

- (1) メニューの「ファイル」から、データをエクスポートします。



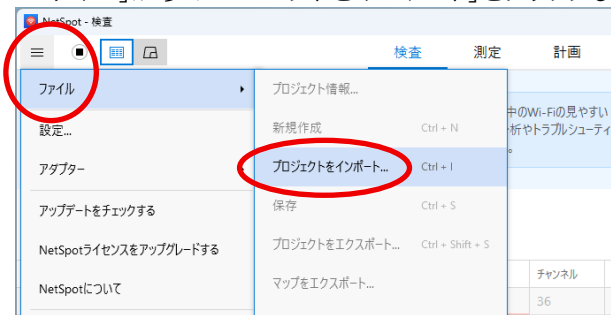
- (2) わかりやすい名前を付けて任意の場所に保存します。



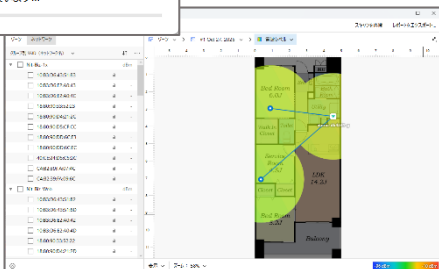
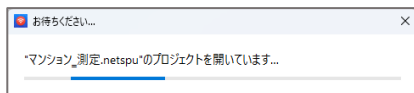
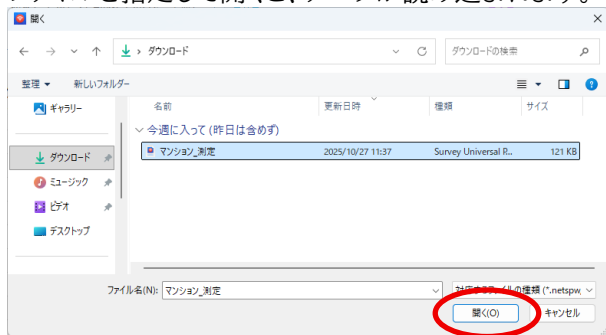
- (3) エクスポートしたファイルを、使用したい PC にコピーし、NetSpot を起動します。

## 第4章 測定

(4) 「ファイル」から「プロジェクトをインポート」をクリックします。



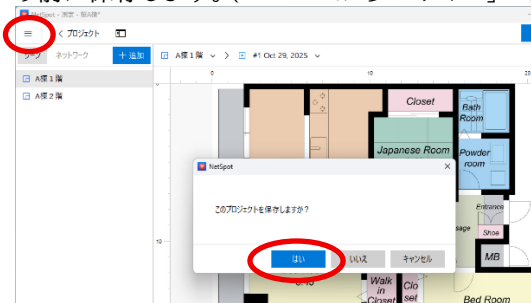
(5) ファイルを指定して開くと、データが読み込まれます。



## 4-10プロジェクトのコピー

同じ間取りや同じ構造の建物を複数調査する場合など、プロジェクトをコピーして使用することができます。こちらは同一 PC 上でプロジェクトを複製して使用する手順です。

- (1) 図面やデータポイントのサイズ、必要なゾーン等を指定したら、測定を行う前に保存します。(メニューから「ファイル」-「保存」)



- (2) 保存すると、プロジェクト一覧に表示されますので、メニューから「複製」を選択してください。



## 第5章 計画【Pro 版のみ】

計画タブでは、これから設置する Wi-Fi を幅広くモデリングすることができます。

配置予定の空間のレイアウト(壁、ドア、窓等)や材質、部屋の広さ、Wi-Fi のアクセスポイントのタイプなどのデータを入力し、予想ヒートマップを作成することができます。

可視化することで、必要なハードウェアや改善点を見つけることが容易になり、時間や労力を大幅に節約することができます。

※ レポートの作成(『4-7』)や、データのエクスポート/インポート(『4-8』)は、「測定」と同様に行うことができます。

- (1) プランニングを開始するには、「計画」タブを開き、「+」をクリックしてください。



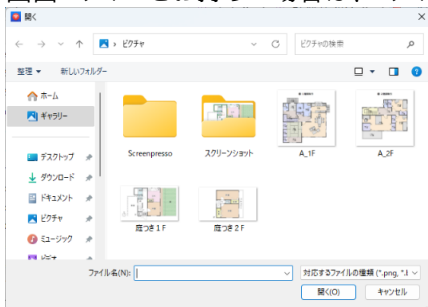
- (2) わかりやすいプロジェクト名をつけ、図面をお持ちの場合は「ファイルより」をクリックし、図面をお持ちでない場合は「レイアウトを作成」を選択してください。



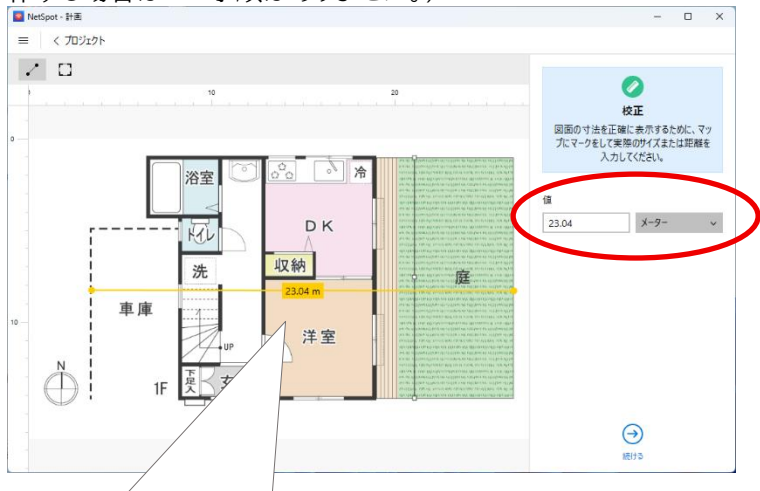
- ※ レイアウトを作成する場合は、大まかな規模を設定するため、キャンパスサイズを指定してからお進みください。



- (3) 図面ファイルをお持ちの場合は、ファイルを選択してください。



- (4) 読み込みましたら大まかなサイズを入力してください。(レイアウトを自作する場合はこの手順はありません。)



ルーラーが表示されますので、わかりやすい位置を指定して、右側の枠内に長さをご入力ください。



- (5) 数値を入力したら「続ける」をクリックします。





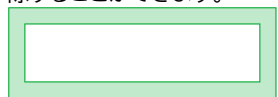
- (6) 電波の状態をシミュレーションしますので、現実の環境に合わせて壁や窓の位置、材質等を指定してください。左上のアイコンを使用し、色を指定するとわかりやすくなります。



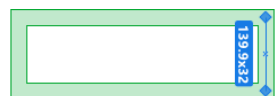
	選択ツール	オブジェクトを選択し移動、削除などができます。
	壁	始点をクリック、終点をダブルクリックします。
	四角い壁	始点と終点をクリックして指定できます。
	窓	始点と終点をクリックして指定できます。
	ドア	始点と終点をクリックして指定できます。
	棚	始点と終点をクリックして指定できます。
	定規	始点と終点をクリックすると、長さを測れます。
		直前の操作を取り消し、取り消しを戻すことができます。

● 作図例

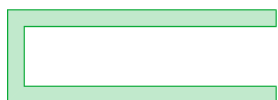
 (四角い壁)で作図した場合、完成後は  のアイコンで選択して、線分単位で削除することができます。



 で四角を作成



 を選択して壁の一部を選択



キーボードの **Del** キーで削除



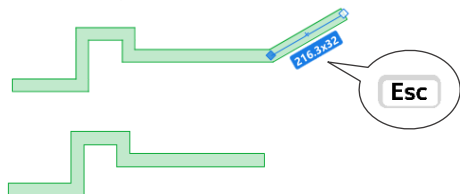
**Shift** +  で、四角全体を指定できます。

407.3x168.3

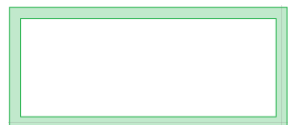
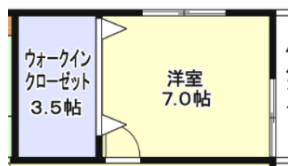
 壁は、始点をクリック、終点はダブルクリックで指定できます。




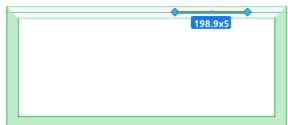
点をクリックして、続けて壁を作成できます。ダブルクリックで終了できなかったときはESC キーを押してください。



下記のような間取りでは、先に「四角い壁」を作り、あとから任意の場所に窓やドアを指定することができます。



 で四角い壁を作成




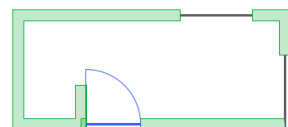
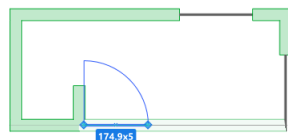
 で任意の場所に窓を指定



 で壁を作成



 でドアを指定



(7) オブジェクトの材質を指定してください。

▽ アイコンでオブジェクトを選択し、右側で素材を指定します。

壁を選択

素材を選択

壁 1.3.2

センター, cm 2060.6 X 856.7 Y

寸法, cm 387.8 長さ 32 厚み

アングル 90 °

色

素材 レンガ 情報

併合 16 dB/m

反映 20 %

曲げる 0

※ 「カスタム」を選択すると、電波の反射率や吸収量をより細かく指定することができます。

素材 情報

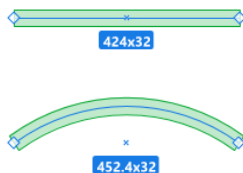
レンガ

電波吸収量 16 dB/m

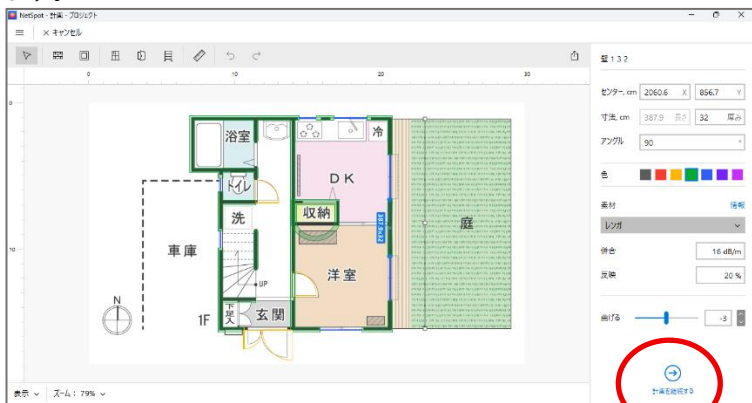
反射率 20 %

曲げる 0

曲げる 71



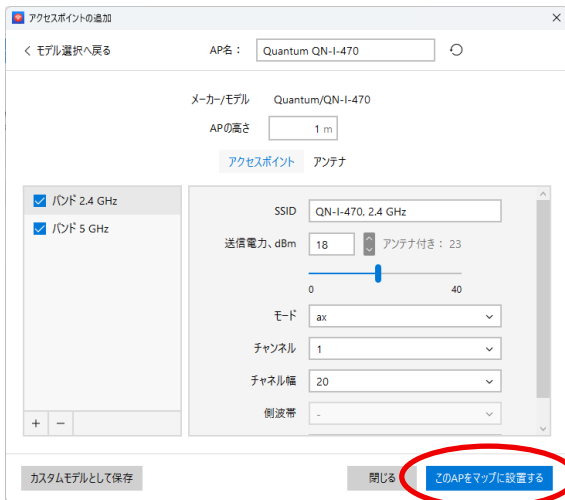
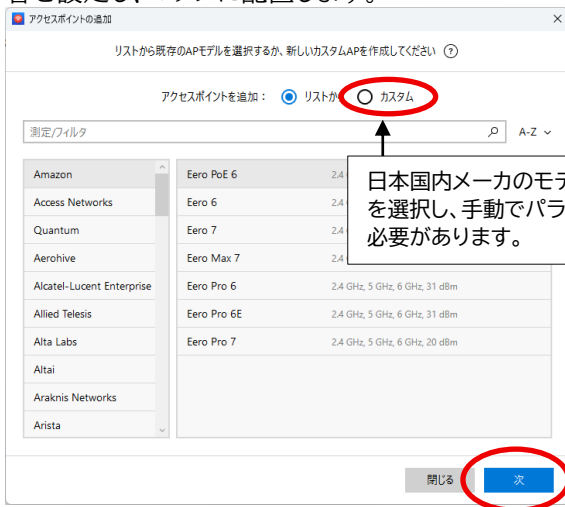
- (8) 壁や窓、材質の指定がすべて終わったら「計画を継続する」をクリックします。



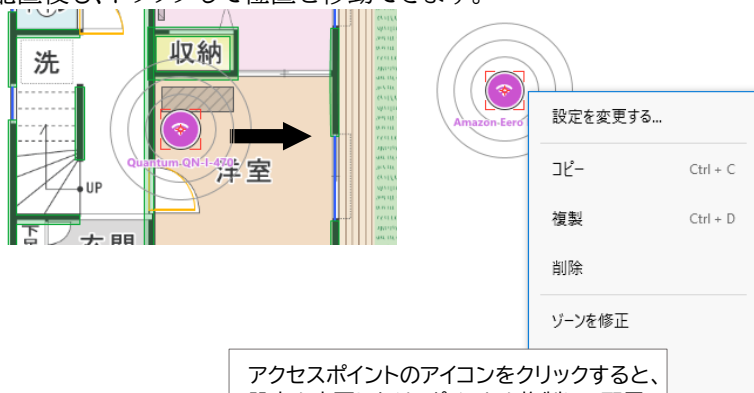
- (9) ダミーのアクセスポイントを配置します。配置したい場所をクリックし、「新しいアクセスポイント」または「アクセスポイントを追加」をクリックしてください。



(10) アクセスポイントのメーカーやベンダー、強度等、シミュレートしたい内容を設定し、マップに配置します。



(11) 配置後も、ドラッグして位置を移動できます。

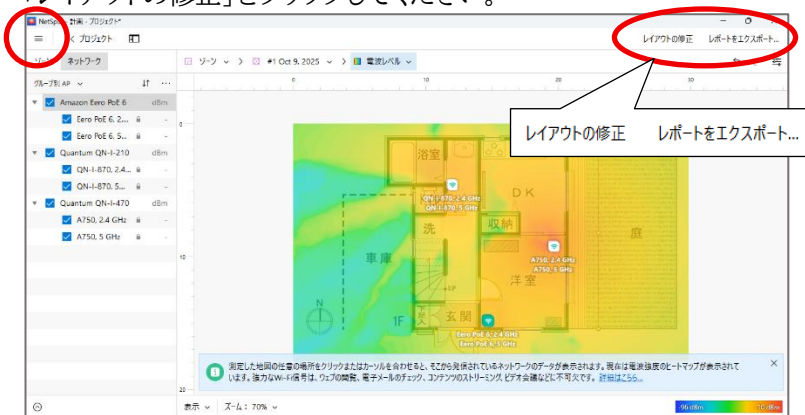


アクセスポイントのアイコンをクリックすると、設定を変更したり、ポイントを複製して配置することもできます。

(12) 同じ操作を繰り返して、必要な分だけアクセスポイントを配置します。配置できたら「ヒートマップ」をクリックします。



- (13) ヒートマップが表示されます。結果を保存する場合は左上の ≡ (メニュー) から「ファイル」 - 「保存」、また右上の「レポートをエクスポート」からPDFやPNGでエクスポートできます。設定を変えてやり直す場合は「レイアウトの修正」をクリックしてください。

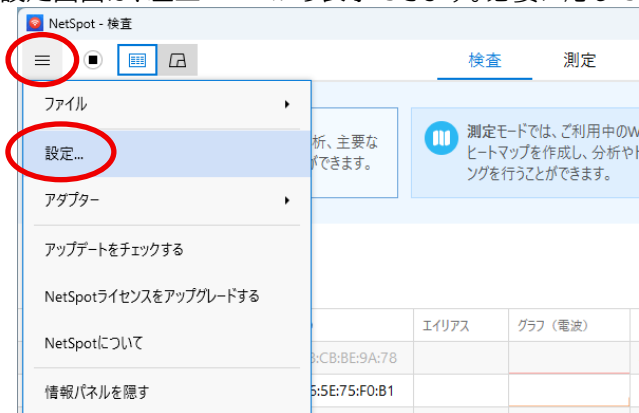


- ※ レポートの出力は『4-7』と同様です。
- ※ データのエクスポート/インポートは『4-8』と同様です。

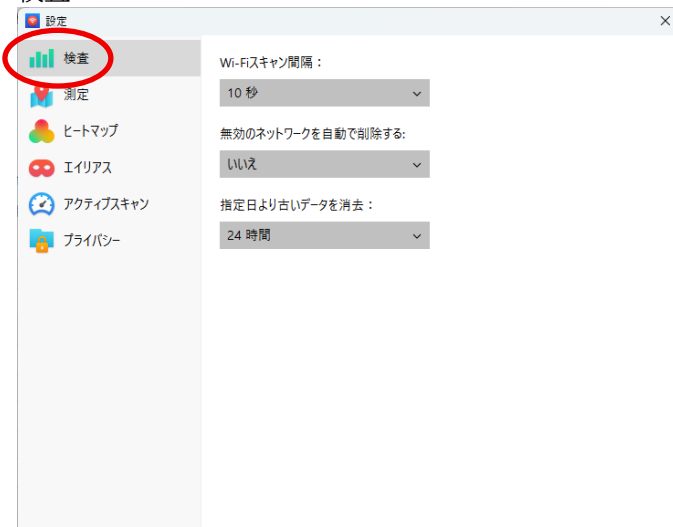
## 第6章 その他の操作

### 6-1 設定

設定画面は、左上の ☰ から表示できます。必要に応じてご利用ください。



#### (1) 検査



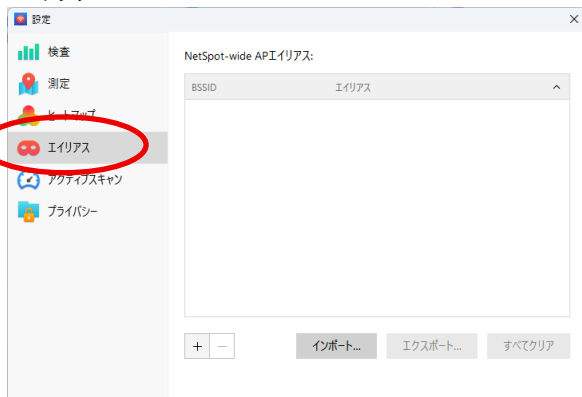
## (2) 測定



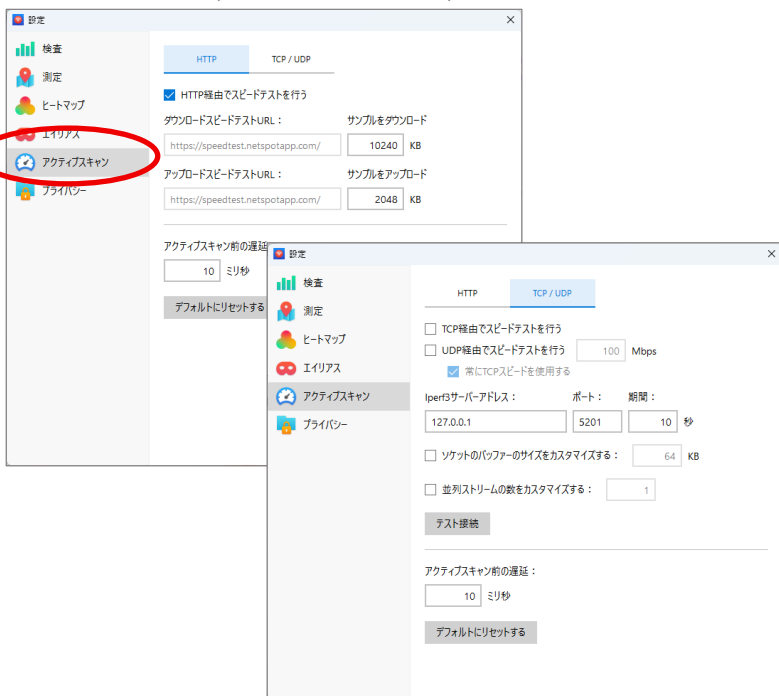
## (3) ヒートマップ



## (4) エイリアス



## (5) アクティブスキャン(HTTP/TCP/UDP)

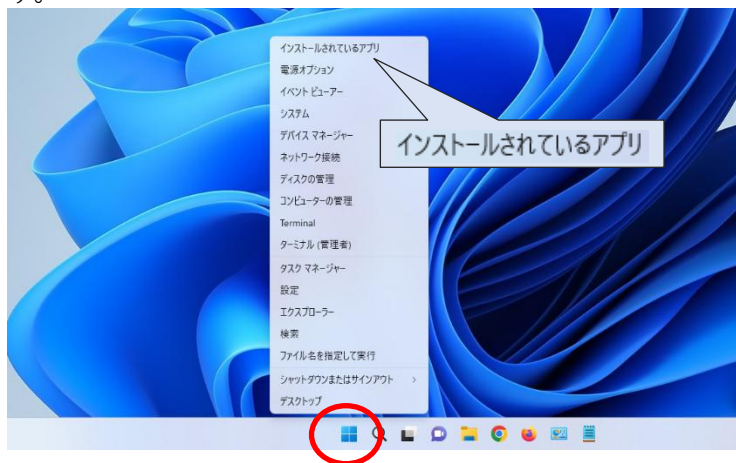


(6) プライバシー

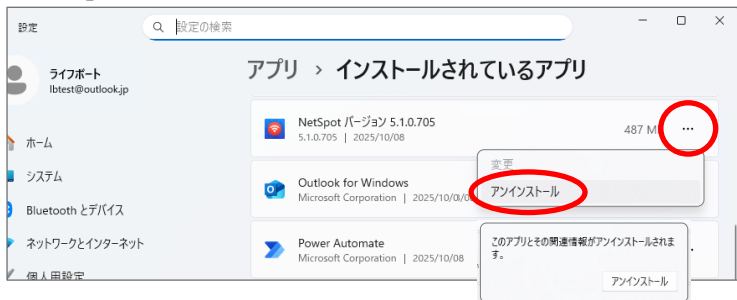


## 6-2 アンインストール

- (1) スタートボタンを右クリックし「インストールされているアプリ」を選択します。

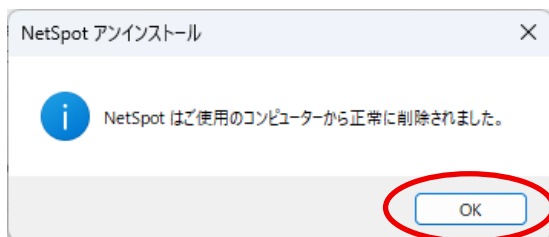
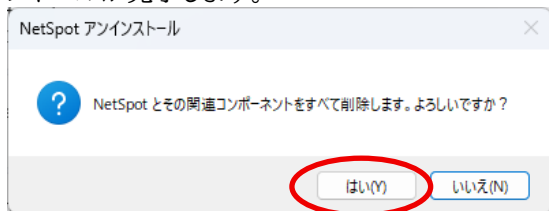


- (2) 「NetSpot」のメニューから「アンインストール」をクリックしてください。



- (3) ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。

- (4) 下記のようなメッセージが表示されます。画面にそって進めるとアンインストールが完了します。



- ※ アンインストールは、「コントロールパネル」の「プログラムと機能」からも行えます。「NetSpot」を選択し、「アンインストール」をクリックしてください。

